

令和元年度の教育活動等に対する学校評価書

令和2年 3月4日

学校法人頌徳学園三和幼稚園長 金原 順一

学校法人頌徳学園三和幼稚園学校関係者評価委員会長 齋藤 早苗

1 幼稚園の教育目標

元気で明るくのびのびした子ども

情操豊かな子ども

友達を遊べる子どもを柱として、よく見てよく聞いてよく考える子の育成をする

2 本年度の重点目標

今年度は新教育要領の改訂により、子どもが主体的、対話的で深い学びができるような保育を心掛ける。新教育要領を見直し、職員研修を行い、子どもが生き生きできる保育を実現していく

令和2年3月3日 学校関係者評価意見委員の意見を次記の通り報告します

令和元年度 三和幼稚園 学校評価委員長 齋藤 早苗

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	幼稚園取り組みの反省と改善策	評価点	評価. 意見
保育の計画性	指導計画に沿って、日々の生活におろしていく 子ども達の現在の成長に合った計画をしていく	B	<p>昨年の指導計画に添いつつも、今年の子どもに合わせて取り組んだ。行事等がある場合は、学年で話し合いを重ね、日々の活動におろすことができた。</p> <p>改善点…活動の内容を深めるとなると、もっと長いスパンをかけて計画していく必要がある。</p>	B	先生たちが、行事に対し新しい知恵を出し合ったり、話し合ったりと懸命な姿が感じられた。子どもの興味に深く指導してもらい、家庭でも話をする姿が見られた
保育のあり方・ 幼児への対応	ひとりひとりの発達に合わせて、主体的・対話的な深い学びができていたか。	B	<p>教師がすぐに手を出すのではなく、少し待って子どもの様子を見てから援助したり、見守ったりしてきた。少しずつだが子どもの主体性を重んじた保育が見えてきた。</p> <p>子ども達のやりたいことを取り入れて計画してきたが、積極的に伝えられる子はいいが、そうでない子への声掛け不足だった。</p> <p>改善点…子ども一人ひとりを観察し、成長記録をしっかり録り活用していく</p>	C	<p>集団生活において、守らなければならない約束事や規律に関しては、できていなかったのではないか</p> <p>子どもの意見を尊重した保育が感じられた。</p>
保護者への対応	子どもが今後よりよい成長を遂げるために保護者の思いに寄り添いながら、3者一体で進めていく	B	<p>保護者発信の場合はこちらも対応をして関わられるが、そうでない保護者に対応ができていないのでクラスだよりの伝え方を考えるべきである。</p> <p>怪我については、状況を説明してきたが、教師が見ていないこともあった</p> <p>改善点…園庭などの活動では教師の連携を図っていく クラスだよりを見直し、改革</p>	C	<p>保護者発信したが、保育者にとってはそうでもない内容だったかもしれないが返信がほしかった</p> <p>今後もセキュリティ強化に努めていってほしい</p>

研修と研究	・研修で得た知識や情報を職員間で共有し保育に生かしている	A	教師同士、行事に対して共通理解が図れた 主体性を考えた研究保育を各クラス行ったことで、教師の役割、環境設定を考えさせられる1年だった 改善点…若手教師がもっと意見を尊重していける雰囲気作り。 教師の創造力を養っていく	A	今年度職員が協力して進めていてくれるので、引き続き、時代のニーズに合わせて研修研究をしていってほしい。
-------	------------------------------	---	---	---	---

評価結果の表示

A	十分成果があった	B	成果があった	C	少し成果があった	D	成果がなかった
---	----------	---	--------	---	----------	---	---------

4 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保護者に指導内容等の伝え不足が感じられる	園からの発信を多くしまた内容もわかりやすくポイントを押さえ伝える
職員の資質向上に向けて	職員が主体性を意識し始めてきたので、さらなる研究保育が必要 挨拶の徹底 集団生活におけるルールや規律を強化指導する
地域や自然との関わり	小学校との連携・職員が自然教育を深める（自然から不思議さ、愛情もって育てた後の感動や悔しさ。自然の仕組みを知る）

